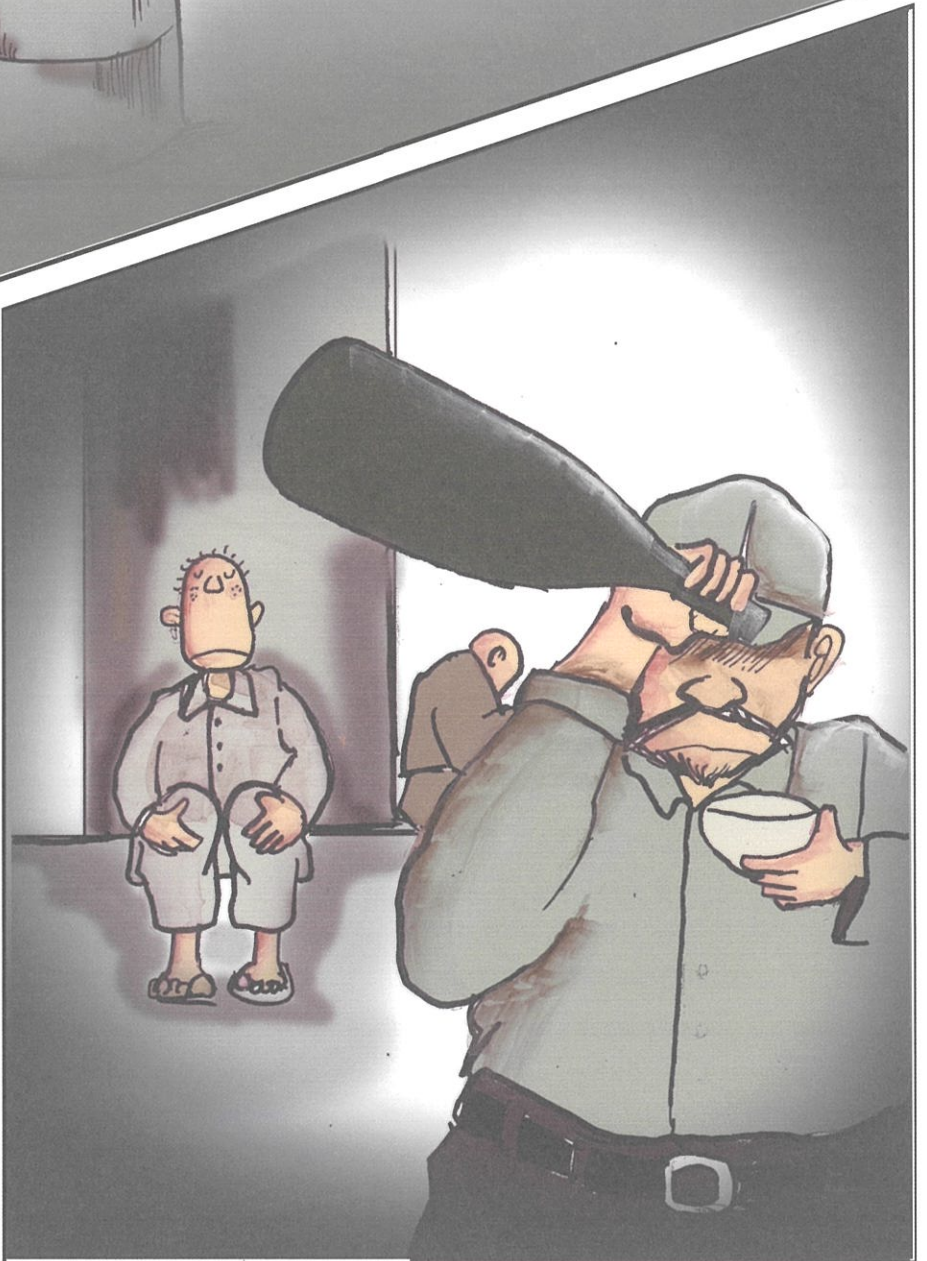


制作:南区魅力発見委員会

南区七大伝説

第七







なにがなにが
みんな今日を生きるのが
やつとですけえ

ピカから一年
なんとか街も落ち着いたかの？



今 広島の人が
何を欲しとるじやろう？

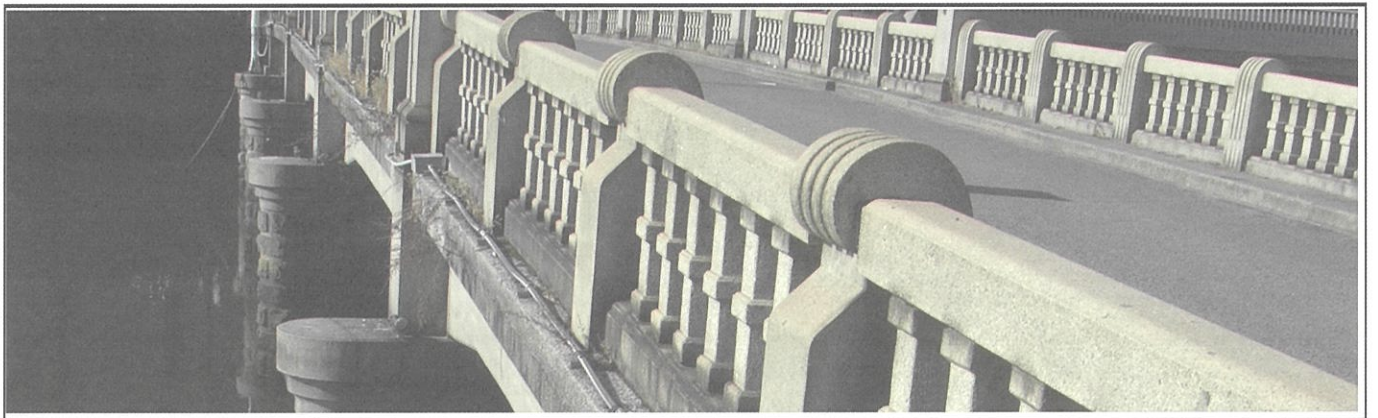
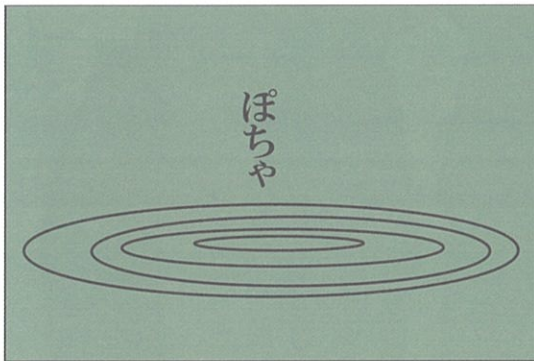
何せみんな
今日のメシが
ないですけえのお

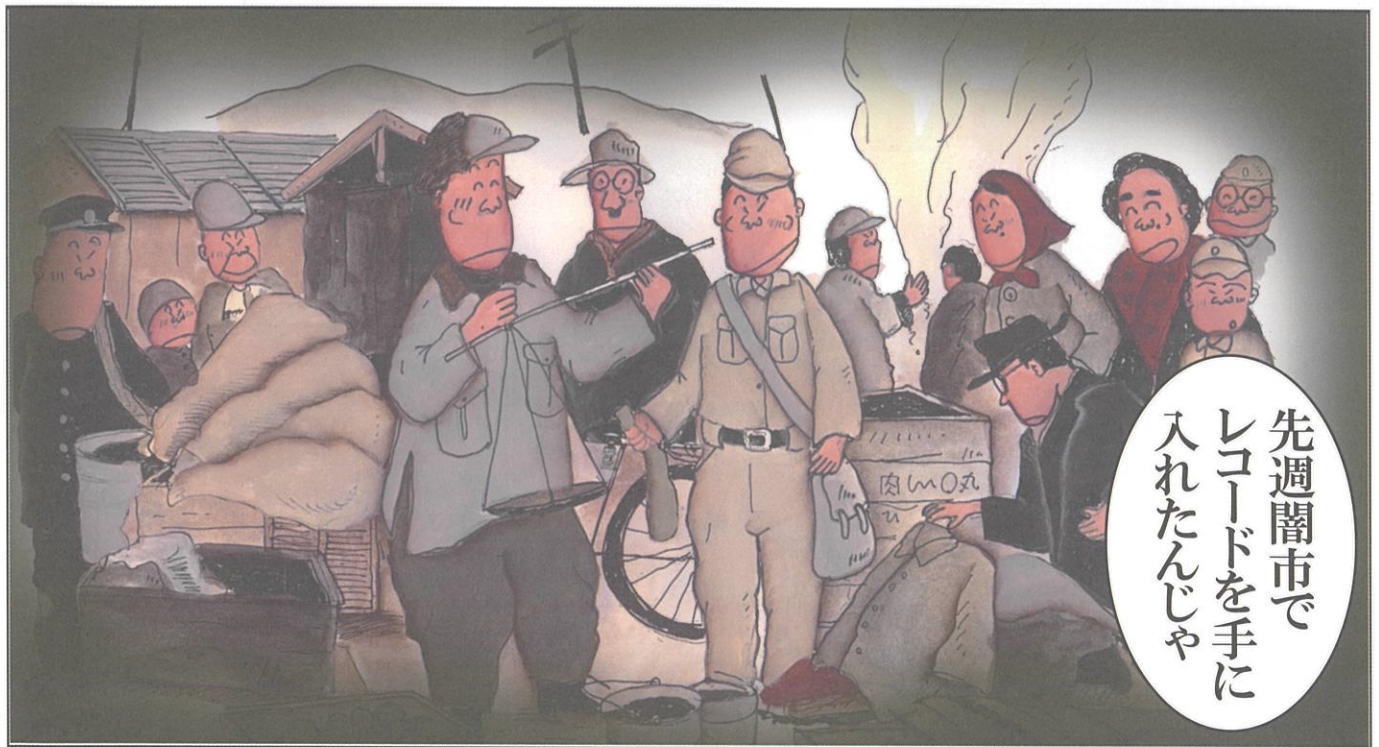
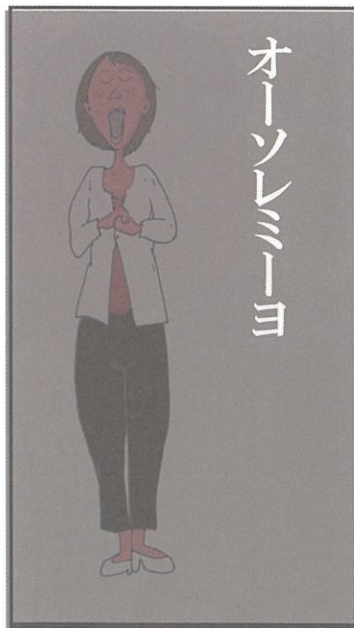


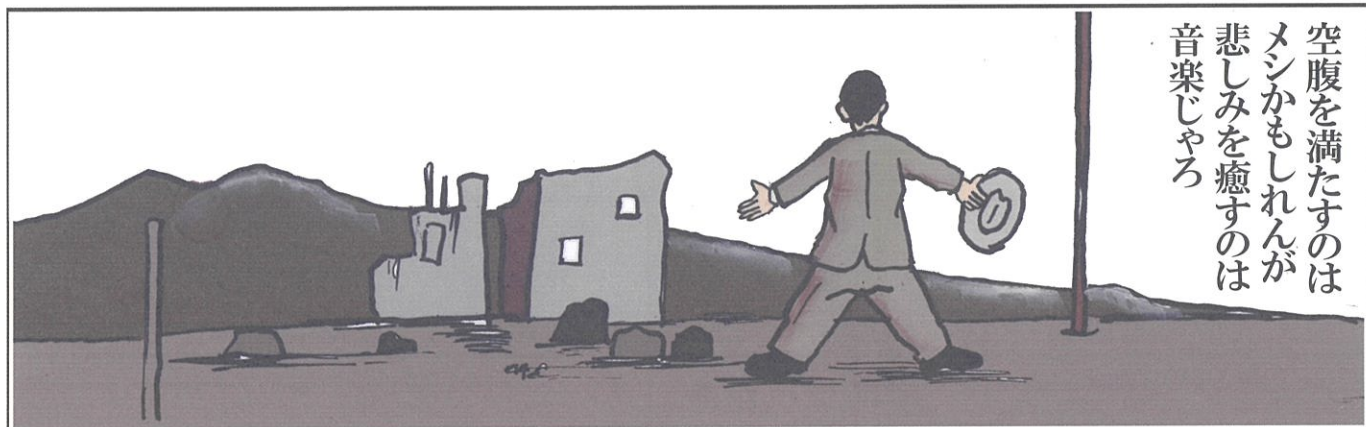
そうじやろうのう

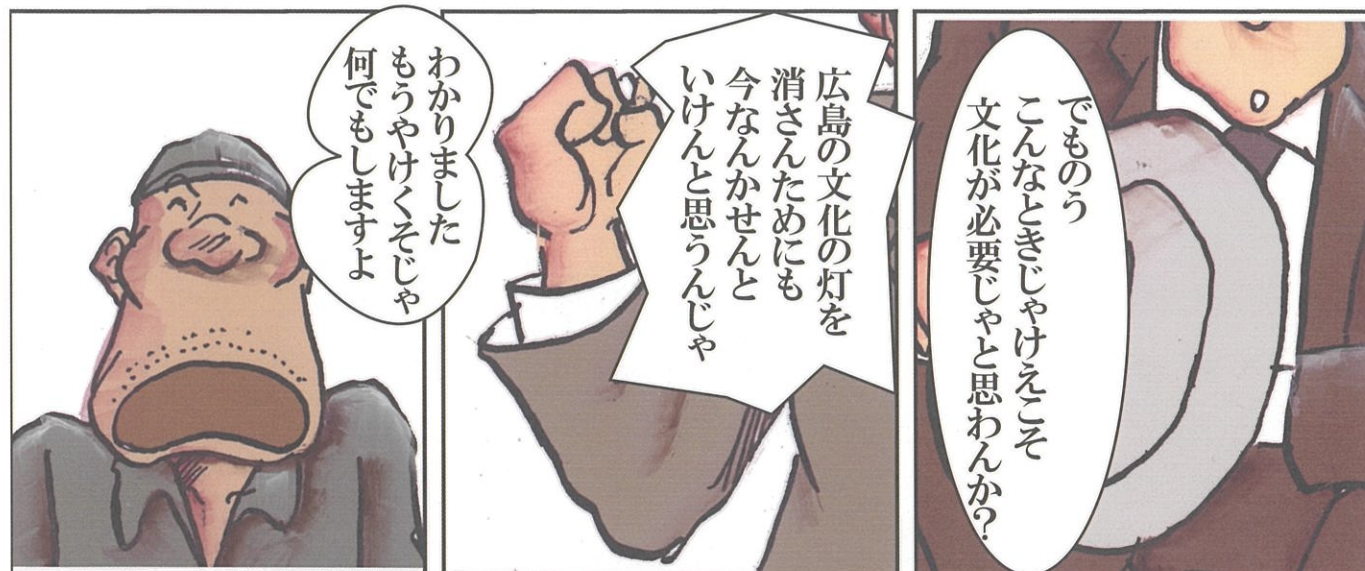
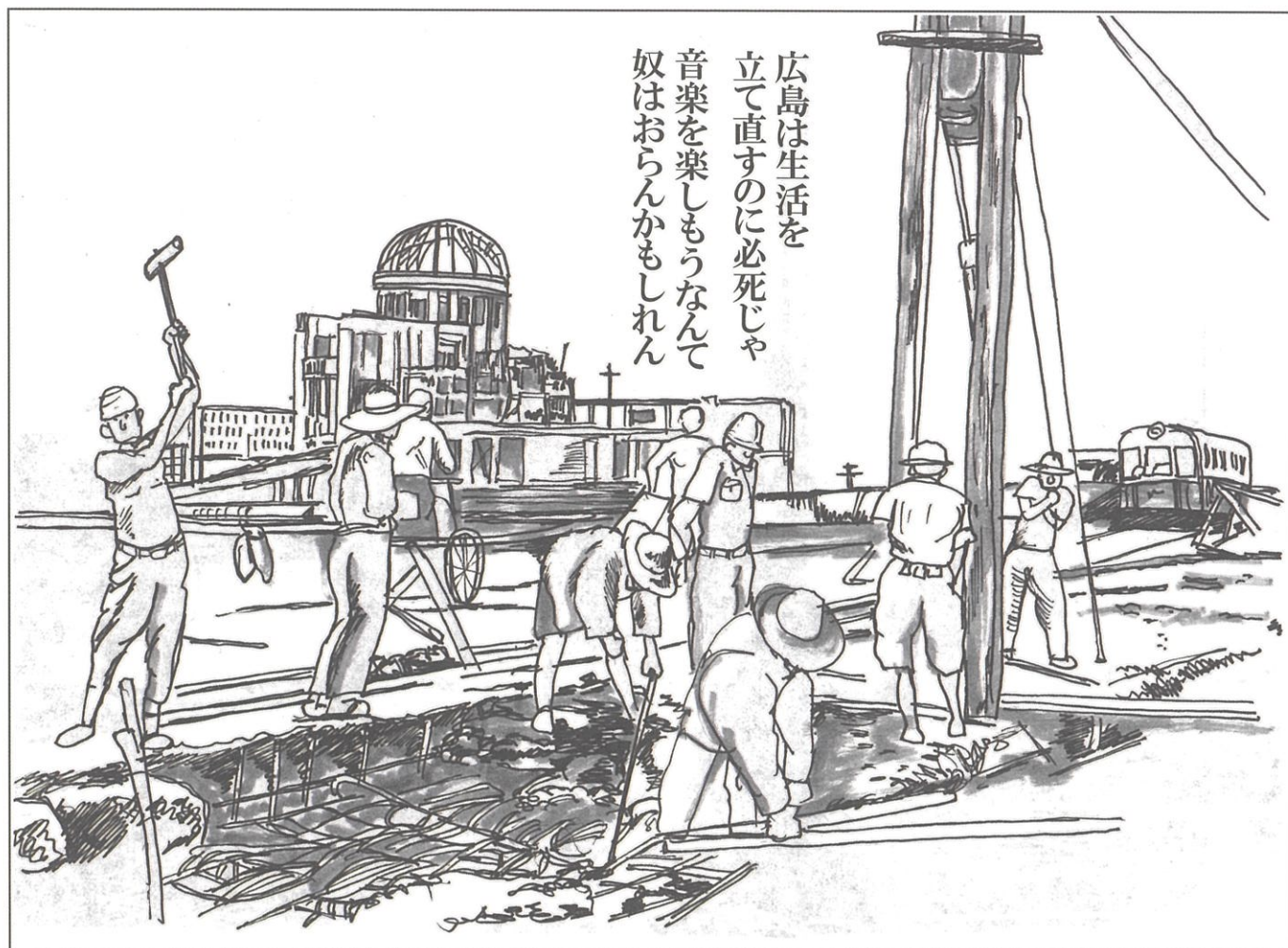


そりゃ！
食いモンですよ











すでに店の中はいっぱい
その何倍もの人が外にあふれていた



雪が降ってきた
外で聞いている人の
肩に降り積もる
立ち去る人はいない



ある人は
冷たい
窓ガラスに
耳をつけ
ある人は
隣の人に
よりそうようにして
必死で音楽を聴いた



男達は思った
ヒロシマが
一枚のレコードに
救われていると...



廃墟の中のレコードコンサート

第九伝説

南区魅力発見委員会 風土記部会

一枚のレコードを聞くために集まった人々
南区の猿猴橋町に小さな音楽喫茶が被爆という惨劇から、わずか一年後の昭和二十一年の終戦記念日に開店した。その店は広島に文化を！という市民により結成された国際文化協会により活動資金を確保する場として作られたものである。

店主となる梁川義雄氏は、まず大阪の闇市に出向き米と交換にベーターペン「交響曲第九番」のレコードを手に入れた。

その第九のレコードが聞けるというウワサは瞬く間に広がり、その暮れに行われたレコードコンサートには何の告知もしていないのに多くの市民が集まってきた。その数は数百人にもなったという。しかし数十人が精一杯の小さな空間である。当然、全員が中に入れない。

「寒い日だね。雪が降っていました。入りきれない人々は帽子にうつすらと雪を積もらせ、凍りついた窓ガラスに耳をつけ必死で中から漏れ聞こえてくる音楽に耳を傾けていました。中には涙ぐんでいる人もいましたね」(故 梁川義雄談)

その後も音楽喫茶を拠点にし、音楽を愛

する市民がつどい、水上音楽祭や野外コンサート、歌声喫茶など様々な文化事業を企画し実行しました。その活動は人々に生きる勇気を与え、忘れかけていた笑顔を取り戻すために役立った。

国際文化協会

活動の母体となった国際文化協会という民間の文化団体で、今風に言えばNPO法人というのだろう。行政が道路や建物の復興に追われ文化まで目が行き届かない時に「ヒロシマに文化の灯を絶やすまじ」と焼け野原の中、昭和二十一年に設立された。純音楽茶房はその活動資金を捻出するため営業活動を行うようになった。

協会の活動はクラシック音楽を中心におき、様々な形で疲れ果てた市民に音楽を提供した。それはレコードコンサートなど店内の催しに止まらず、猿猴橋や元安橋付近の川面を会場とし水上音楽祭(昭和二十四年(二十六年))を開催、比治山や縮景園を会場にプロムナードコンサートと銘打ち野外コンサートを主催するなど市域全般に広がっていった。昭和三十年代に最盛期を迎えたコーラスタイムには、毎回三百人近い市民を集め歌うことの喜びを伝えた。

世界音楽祭で復元

99年に行われた広島市主催の世界音楽祭オーガストインヒロシマにおいて、この音楽喫茶が昭和の音楽文化を検証し、21世紀に向けヒロシマが音楽から得た元気を継承する場としてアステールプラザに再現され、連日、多くの人で賑わった。



オーガスト・イン・ヒロシマ'99 純音楽茶房展事業概要

▼事業趣旨

- (1) 本事業は世界音楽祭オーガスト・イン・ヒロシマ'99の主催事業として開催する市民主導型の事業である。
- (2) 被爆後いち早く音楽茶房を立ち上げ市民の復興の糧となったムシカを復元することにより、音楽がヒロシマの復興に果たした役割を検証する。
- (3) 「純愛」「浪漫」「青春」をテーマに事業を行う。

▼事業内容

- (1) 事業名：純音楽茶房展
- (2) 事業期間：平成11年8月1日(日)～31日(火)
- (3) 事業場所：
第1会場 アステールプラザ市民ギャラリー
第2会場 " 多目的スタジオ
第3会場 レストラン・リバークルーズ
- (4) 事業数 113本
・第1会場(有料コンサート12本、無料コンサート15本)
・第2会場(有料コンサート32本、無料コンサート54本)
- (5) 入場者数 15,912人
- (6) 運営スタッフ
(1) ムシカ復元の会常連委員：151名
(2) ムシカ復元の会会員：1,323名
(3) 運営スタッフ：述べ917人(ボランティア788人、職員129人)
(4) 出演アーティスト：446人

発行：南区魅力発見委員会(南区役所 市民部地域起こし推進課内)
〒734-8522 広島市南区皆実町一丁目5番44号
Tel 082-250-8935 Fax 082-252-7179